令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- Ⅴ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立大里東小学校】

1実践テーマ	【】· Ⅱ · Ⅲ · Ⅳ · (V) (複数選択可)
2実施対象者	対象学年:3年生
	クラス (人数):3の1 (26名) 3の2 (26名)
(学年·人数) ————————————————————————————————————	特別支援学級(2名)
3展開の形式	(1) 学校における活動
	(1) 教科名(総合的な学習の時間)
	② 行事名(トランポリン体験教室)
	③ その他 () () () () () () () () () (
	(2) 地域における活動 ① イベント名 ()
	① イバンド台 ()② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	 オリンピック種目であるトランポリン競技について学び、体験を 通して体を動かす楽しさ、個人競技のよさを理解できるようにする。 トランポリン教室の方の話を聞くなどして、様々なオリンピック種 目に関心をもち、進んでスポーツに取り組む姿勢を育むことができる ようにする。
5 取組内容	(1) 外国の文化や選手、オリンピック、パラリンピックの種目について調べ、様々な競技に関心をもつ。(教材「I'm possible」を活用) (2) 世界体操の選手(ベラルーシ、キルギス)に応援メッセージを書き、体操競技に関心をもつ。 (3) オリンピックのビデオ観戦や、世界体操を実際に観戦し、体操競技の素晴らしさについて実感できるようにする。(写真1、2)
	写真 2

- (4) トランポリン競技について取り上げ、代表選手の姿勢や競技 の在り方などについて考える。(トランポリン学習事前指導)
- (5) トランポリン教室の方から話を聞き、トランポリン体験を行う。(トランポリン体験教室)
 - (1) 講師の方の説明と模範演技
 - ② 児童のトランポリン体験(写真3)



- (4) 講話や体験を通して、スポーツのよさや、スポーツに打ち込む人の生き方について考える。(体験学習感想文などによる振り返り)
- (5) 友達と意見交流する中で、誰もがスポーツを楽しむために必要なことについて自分の考えをもち、実践していこうとする心情を養う。(学習の振り返り)

6 主な成果

世界体操の観戦や、トランポリン体験を行うことによって、今まで体験したことのないスポーツでも興味をもち、行おうとする心情を養うことができた。

オリンピック選手に尊敬の念をもち、その情熱や思いの強さを 感じ、生き方について考え、自分の目標へとつなげることができ た。

7実践において 工夫した点 (事業の特色)

世界体操の観戦をする機会を活用することで、見ることから体験することまで、児童の意識に沿った学習を行うことができた。 本やインターネットから調べる活動から、動画の視聴、実際の観戦、体験活動と順に行うことで、活動がより具体的になっていき、目的意識をもたせることができた。

8主な課題等

• 実施人数による制限

本来は第6学年が実施する予定であったが、トランポリン体験の人数制限により行うことが出来なかった。早期に計画を立て、主となる体験活動に対応できる人数を調べる必要がある。

9来年度以降の 実施予定

- 海外の文化やオリンピック・パラリンピック調べの継続 (総合的な学習の時間)
- 外国語活動、外国語科における海外の文化との触れ合い (KGG体験を含む)